兵庫県健康福祉部こども局長挨拶 "2010年度 公開シンポジウム報告 父親の子育て 母親の子育て"

<table>
<thead>
<tr>
<th>著者</th>
<th>眞木 高司</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>雑誌名</td>
<td>心の危機と臨床の知</td>
</tr>
<tr>
<td>巻</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td>ページ</td>
<td>7-8</td>
</tr>
<tr>
<td>発行年</td>
<td>2011-02-28</td>
</tr>
<tr>
<td>URL</td>
<td><a href="http://doi.org/10.14990/00002704">http://doi.org/10.14990/00002704</a></td>
</tr>
</tbody>
</table>
兵庫県健康福祉部こども局長挨拶

真木 高司

こんにちは。本日は甲南大学の人間科学研究所主催によりますシンドローガムが盛大に開催されますこと、心よりお祝い申し上げます。

さて、本格的な人口減少社会を迎えつつあるわが国でございます。特に少子化対策の問題については、国の根拠に関連してます。平成七年度から子ども未来プランな少子対策に取り組んできております。

平成七年に合計特殊出産率は一・二五でしたのが、平成二一年には応・一三ということでの見直しを行っています。ただ、平成二一年度は若干停滞気味の状況にございました。そして、生率が高まる二・三世代から四世代まで上がっています。しかし、今後五年間で考えますと、出産率の高い二世代から三世代の女性の人たちが多いということであるということは、子ども未来プランを前倒年三月に策定したところでございます。子ども未来プランでは、誰もが安心して子どもを生み、育てられること、地域団体、NPO、企業、職域団体、また大学、市町村等との連携の中で、出産、育児、家庭と仕事の両立、出産、育児支援を総合的に推進していこうということを進めているところでございます。このプラン策定にあたりましても、甲南大学の前問間科学研究所長である森茂先生に策定協議会長として関わっていただきました。これ、非常に多大なるご協力をいただいたところでございます。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

本日のシンポジウムでは、「父親の子育て親友の子育て」というテーマで、大日向先生をはじめとしました学識者の皆様のご講演、また討議が行なわれると伺っております。本県におきま
2010年度 公開シンポジウム報告

ましても、甲府大学をはじめ県内の四大学、近大と連携した
少し前から、子ども育て支援の推進に取り組んでお
ります。また、親自身の成長を含めた子ども育て力の向上や、親の
育児参加を促す取り組み、仕事と育児の両立に向けた企業へ
の支援などを積極的に進めているほか、子どもたちの豊かな人
間性、社会性を育むためのさまざまな交流体験活動の場づくり
も積極的に取り組んでいるところでございます。
最後になりましたが、本日のシンポジウムの開催によりまし
て、多くの県民の方の理解が深まるとともに、良好な親子関係
の構築や、父親の育児参加の促進、またワーク・ライフ・バラン
スを考えた働き方ができる社会の実現につながることを祈念い
たしまして挨拶とさせていただきました。ありがとうございました。